

グローバルサイエンス推進施設

施設長 丹羽 仁史

概要

発生医学研究所では、21世紀COEプログラム「細胞系譜制御研究教育ユニットの構築」(2002-2006年)、グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」(2007-2011年)から連続展開する事業として、「HIGOプログラム」(2012-2018年)を重点的に推進している。そして、“世界と地域をつなぐ”というHIGOプログラムの先導的な活動を継承・発展させるため、また本研究所の機能全体を向上するために、平成29年に「グローバルサイエンス推進施設」を新たに設置した。本施設は、文部科学省認定の全国共同利用・共同研究拠点「発生医学の共同研究拠点」事業、トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク事業、本研究所附属「臓器再建研究センター」および研究支援体制「リエゾンラボ研究推進施設」とともに、国際水準の研究教育を進めるための新しい構想の一つに位置づけられている。

本施設は、発生医学研究所(共同研究拠点、トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク事業を含む)の国際化から産学連携までのone stop窓口を目指し、本研究所の国際的な共同研究と熊本・九州を中心とする産学官連携、人材育成などを促進している。これらを通して、本研究所の先導的な研究、若手人材の育成、社会への貢献という3つの柱を強化する。



● 国際化

発生医学研究所の国際化を推進する下記事業について、資金支援、招聘手続き、セミナー企画運営などの手続きを行う。

- ・ 海外研究者との共同研究
- ・ 海外研究者の来日セミナー
- ・ 海外学生及び国内学生のインターンシップ

● 産学官連携

発生医学研究所の研究分野が行う産学官連携の共同研究について、事務手続きのサポートを行う。

- ・ 手続きの進め方
 1. 共同研究をする教員を決める
 2. 研究内容を決める
 3. 申込み
 4. 内容の審査及び受入の決定
 5. 共同研究契約の締結
 6. 研究経費の納付
 7. 共同研究の開始

